

## 可処分時間

平日の夜は「家族と一緒にテレビを見る」のが日課、  
土日の活動エリアは「天満屋周辺」、長期休暇は「職場か家」。

岡山の26～35歳女性の可処分時間についてWebアンケートを実施した。

平日の夜の主な過ごし方は、有業・無業に関わらず「家族でテレビを見る」「家事、家業の手伝い」「PCでネットやメール」が上位に挙がった。現代らしくネットが浸透している中でも、日常の大切な自分の自由時間を家族と共に過ごしたり、家庭のために費やす様子がうかがえる。

普段の休日に出掛ける場所も、有業・無業の別はなく「表町商店街・天満屋・クレド周辺」が1番人気。但し、専業主婦に関しては「自宅周辺」47.1%が同値で並んでいる。フルタイム有業者の2番人気は「岡山高島屋・OPA・さんすて・一番街周辺」44.7%。移動手段は圧倒的に「車」である。

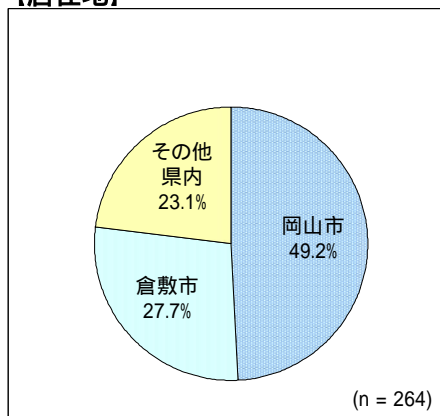
休日に一緒に過ごす相手として「同性の友人」「配偶者」が最も多かったのは当然のことながら、フルタイム有業者の約3人に1人は「ひとり」と回答しており、自分だけの時間も確保している。

長期休暇に関し、予定を決めるきっかけをたずねたところ「以前からやりたかった・行きたかった」が6割を超えており、既に気持ちは醸成済みである様子がわかる。また、遊びのための情報源は「雑誌」46.2%、「インターネット」26.1%、「友人」14.4%で、この世代の遊びの情報の多くは「雑誌」の中にあるようである。

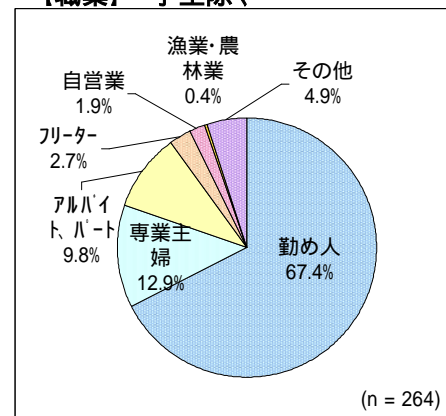
|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 調査目的   | 岡山の30歳前後女性の行動や意識を知る     |
| 調査方法   | インターネット調査               |
| 調査期間   | 2008年6月6日～6月13日         |
| 調査対象者  | 岡山県在住の26歳～35歳の女性（学生を除く） |
| 有効回答者数 | 264人                    |
| 調査機関   | 岡山情報文化研究所               |

### 回答者のプロフィール

#### 【居住地】



#### 【職業】 学生除く



# 平日の「夜」

## 平日の夜は、家族でテレビを見て、家事を済ませ、PCでネットやメールをする。

平日の夜の主な過ごし方を3つまでの制限付きで選択してもらった。職業の有無によって生活スタイルは異なるため、職業別に分け、フルタイム有業者と専業主婦の2グループについて分析することとした。

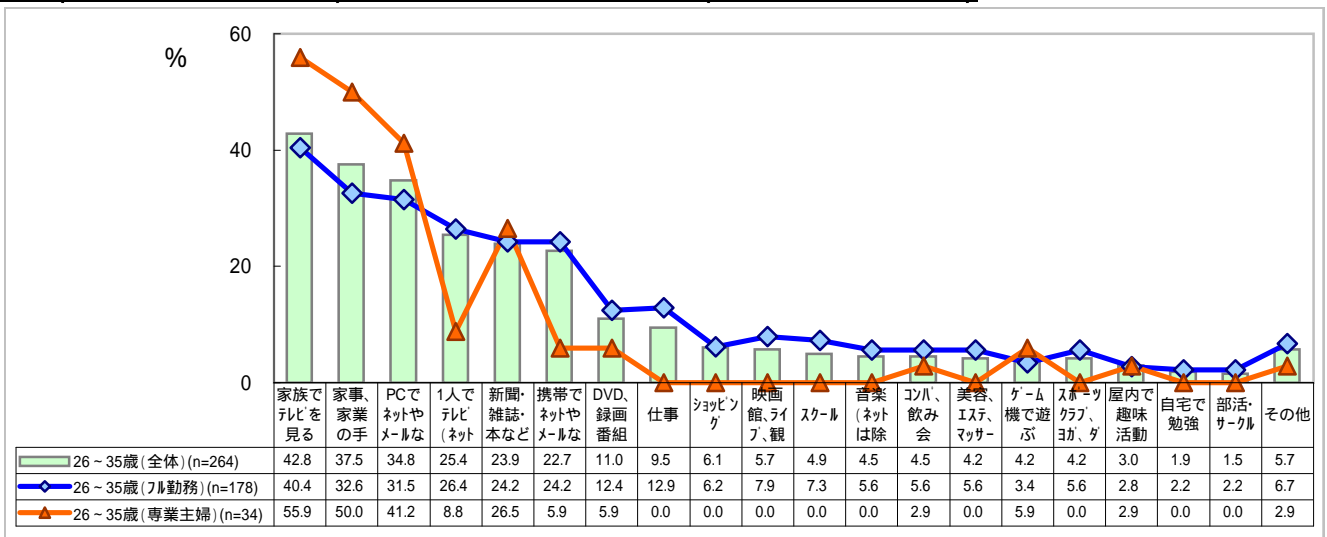
フルタイム有業者、専業主婦ともにトップ3は「家族でテレビを見る」「家事、家業の手伝いをする」「PCでネットやメールなど」という結果となったが、属性間には大きなポイント差がみられる。特にこのトップ3については専業主婦のポイントが高い。

フルタイム有業者の過ごし方は広範囲に亘っており、制約ナシの様相である。平均選択項目数で比較すると、フルタイム有業者は2.6個、専業主婦は2.1個で、選択幅の違いがわかる。専業主婦は20項目ある選択肢のうち9項目がゼロポイントで、基本的に夜の外出はない。

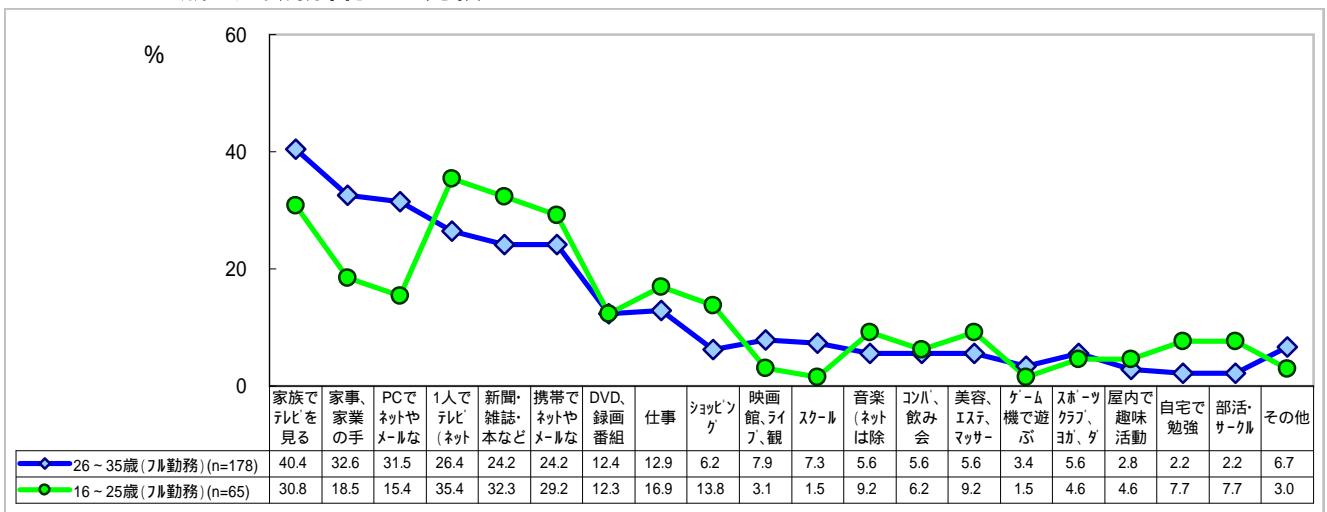
属性間の差が小さかったのが「新聞・雑誌・本など」「ゲームで遊ぶ」「屋内で趣味活動」の3項目で、生活スタイルに縛られないジャンルであるといえる。

「ネットやメール」に関しては利用端末別に選択肢を分けたところ、PCのほうが利用者が多かった。特に専業主婦は携帯電話利用者5.9%に対しPC利用者は41.2%に上り、かなり特徴的である。16～25歳フルタイム有業者をみると、携帯電話利用者のほうが多く、過ごし方トップ3も「1人でテレビ(ネット除く)を見る」「新聞・雑誌・本などを読む」「携帯でネットやメールなど」となり、世代の違いが表れている。

### 平日(授業や勤務のある日)の「夜」に主にしていること (3つまでの複数回答)



### 「16～25歳フル勤務者」との比較



# 普段の休日

働く女性にも専業主婦にも人気なのは「表町商店街・天満屋・クレド周辺」。

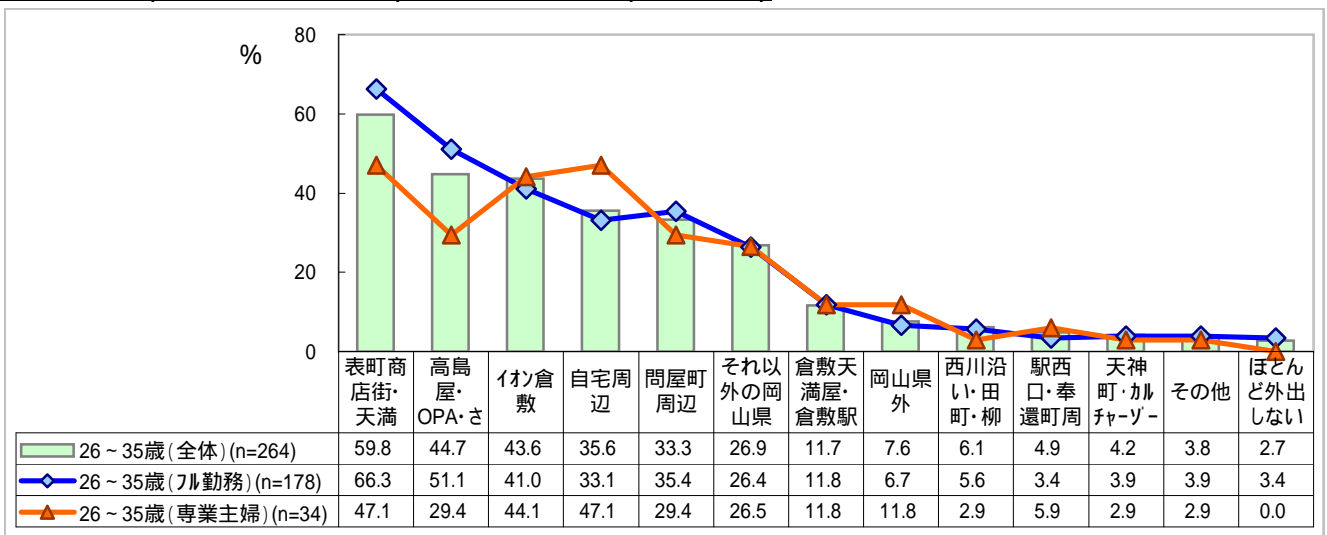
土日などの普段の休日によく行く場所を複数回答でたずねた。

全体でみると、最も多かったのは「表町商店街・天満屋岡山店・クレド岡山周辺」59.8%、次に「岡山高島屋・OPA・さんすて・一番街周辺」44.7%、3番目に「イオン倉敷」43.6%となった。

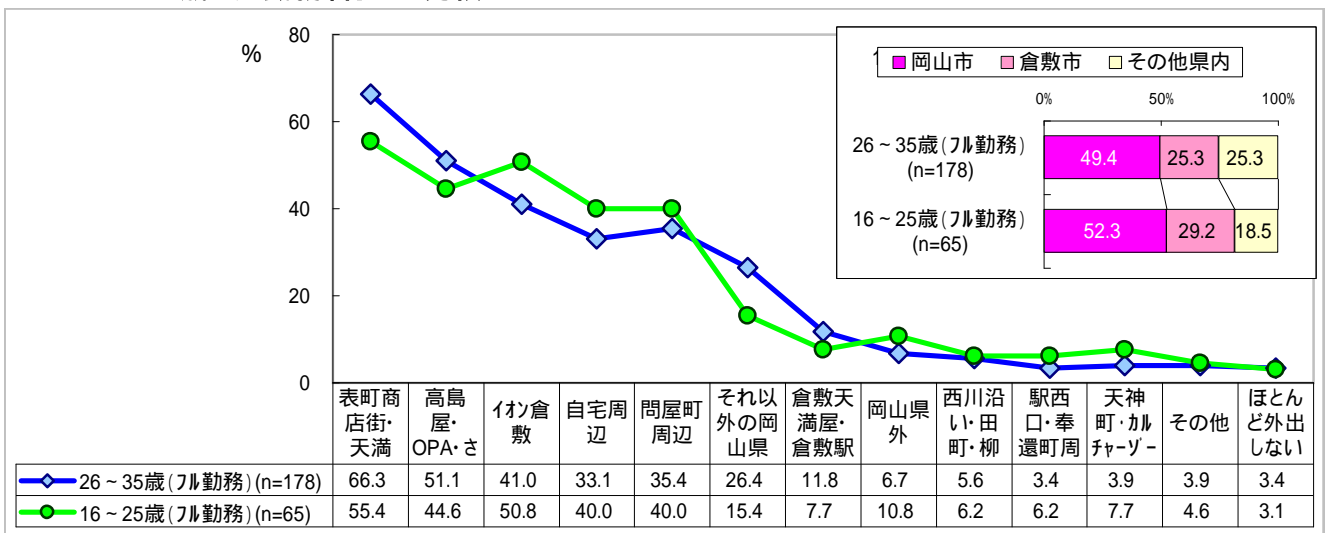
属性別でみると、フルタイム有業者は「表町商店街・天満屋岡山店・クレド岡山周辺」「岡山高島屋・OPA・さんすて・一番街周辺」が全体値を若干上回っており、この2エリアにやや集中している。一方、専業主婦は「表町商店街・天満屋岡山店・クレド岡山周辺」「自宅周辺」がともに47.1%、「イオン倉敷」が44.1%と拮抗し、5割を超えるエリアはない。「岡山高島屋・OPA・さんすて・一番街周辺」においてはフルタイム有業者より21.7ポイント下回る29.4%という結果となっている。

16～25歳フルタイム有業者と比較してみると、若干違いの現れたエリアもあるが、回答者の居住地(1)の影響と考えられる。

## 普段の休日(土日や定休日など)によく行く場所 (複数回答)



## 「16～25歳フル勤務者」との比較



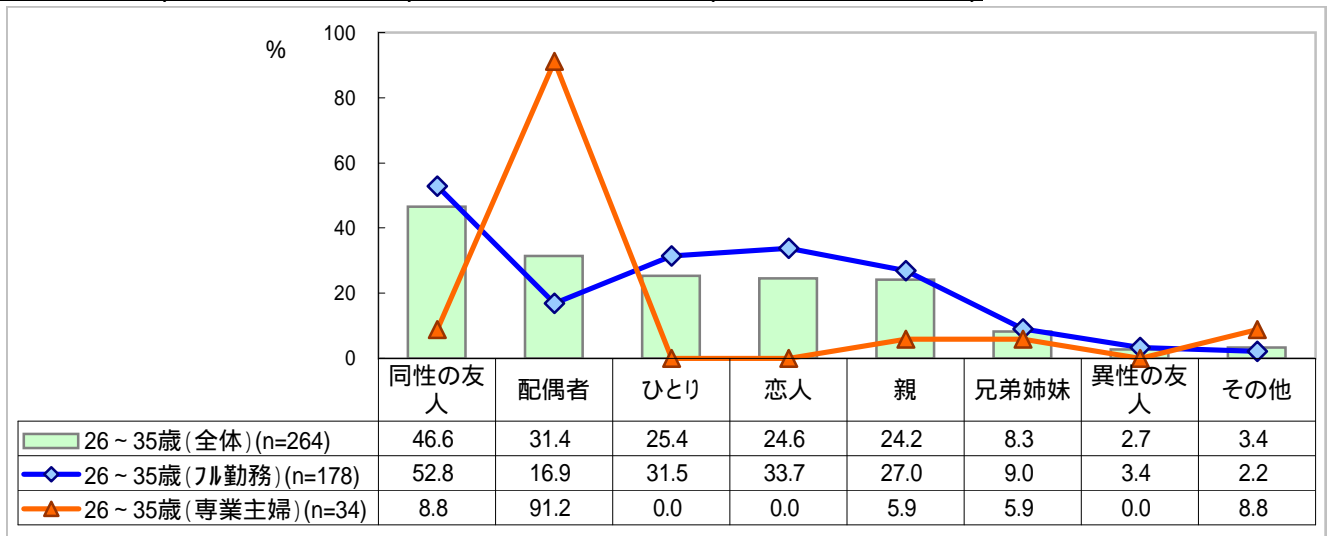
## 一緒に過ごす相手と交通手段

### 「同性の友人」「ひとり」と「配偶者」はトレードオフ関係。

フルタイム有業者の半数が「同性の友人」と、3人に1人が「恋人」と休日を過ごしている。また、約3人に1人が「ひとり」と回答している。岡山県の26～35歳女性のうち、ひとり暮らし世帯は約9%（平成17年国勢調査より算出）であるので、自らすすんで「ひとり」の時間を確保していることは確実である。

専業主婦は9割が「配偶者」と過ごしており、「ひとり」「恋人」「異性の友人」はゼロポイントである。

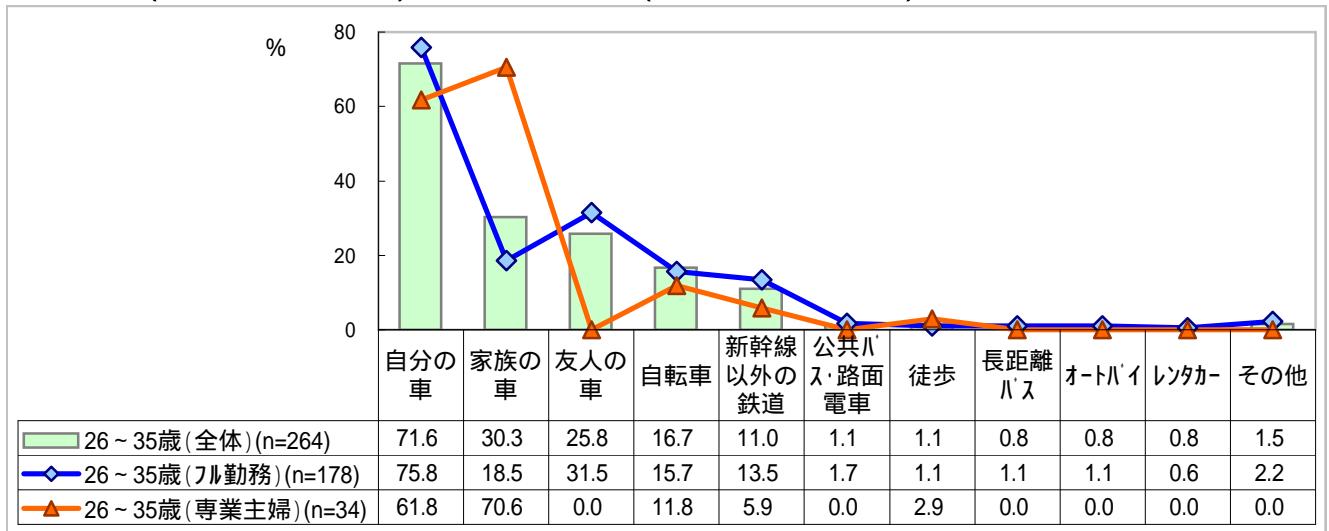
### 普段の休日(土日や定休日など)と一緒に過ごす相手 (2つまでの複数回答)



休日の移動手段は圧倒的に「車」が多く、「自分の車」で移動する人は71.6%に上る。

「新幹線以外の鉄道」は11.0%、「公共バス・路面電車」に至っては1.0%で、公共交通機関の利用が少ない。休日の人気エリアである「表町商店街・天満屋岡山店・クレド岡山周辺」や「岡山高島屋・OPA・さんすて・一番街周辺」へも「車」で移動する人がほとんどであることが推測できる。

### 普段の休日(土日や定休日など)の主な移動手段 (2つまでの複数回答)



# 夏休み

**フルタイム有業女性は、仕事の合間に1泊旅行。  
専業主婦は、家族イベントの合間に家でリラックス。**

夏休みの予定を複数回答でたずねた。

フルタイム有業者については、最も多かったのは「仕事」で45.5%に上る。次いで「家でくつろぐ」37.1%、「1泊以上の旅行」32.6%が続く。既婚者などの場合、「仕事」には「家事」も含まれていると考えられ、半数近くが「完全な休息」を予定していない。いつものルーティンライフから離れられない、あるいは離れようとしていない。

専業主婦は「家でくつろぐ」が52.9%と飛びぬけて高く、全体値を11.2%上回っている。あとに続くのは「話題のイベント、新スポットへ」「帰省」が共に29.4%、「海水浴、プール」17.6%となっており、家族行事が予定されている。

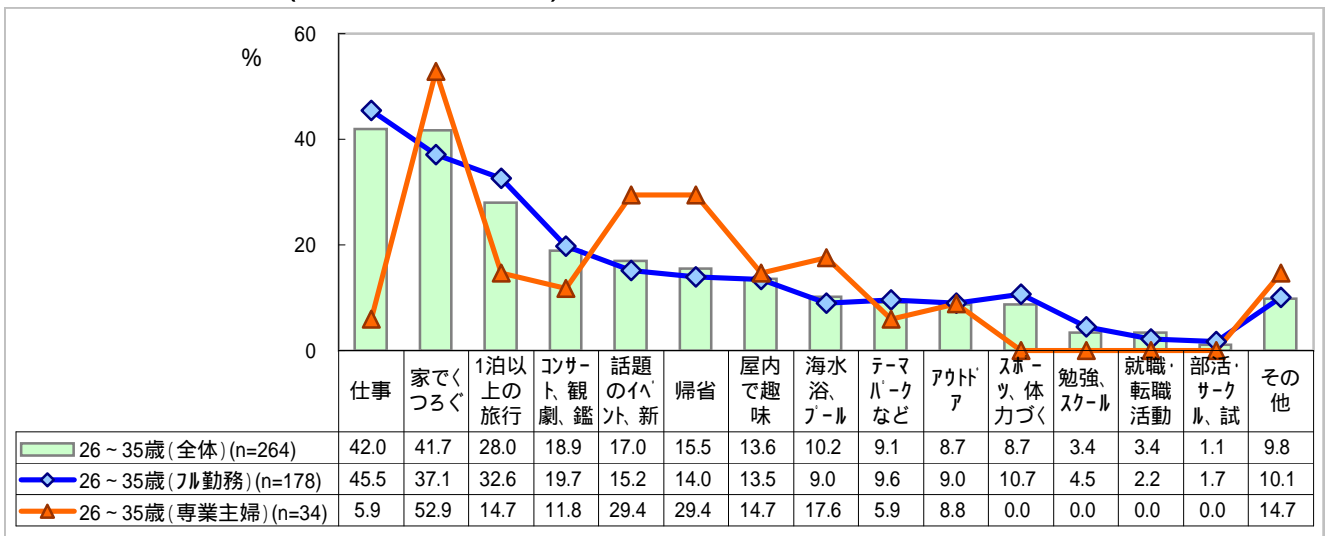
属性間で違いがみられる項目は多く、特に「1泊以上の旅行」「スポーツ、体力づくり」はフルタイム有業者が高く、「家でくつろぐ」「話題のイベント、新スポットへ」「海水浴、プール」は専業主婦のポイントが高い。（「仕事」「帰省」は除く）

この設問は3つまでの複数回答であるが、フルタイム有業者の平均選択項目数は2.4個、専業主婦は2.0個となっており、フルタイム有業者のほうが選択幅がやや広いことがわかる。

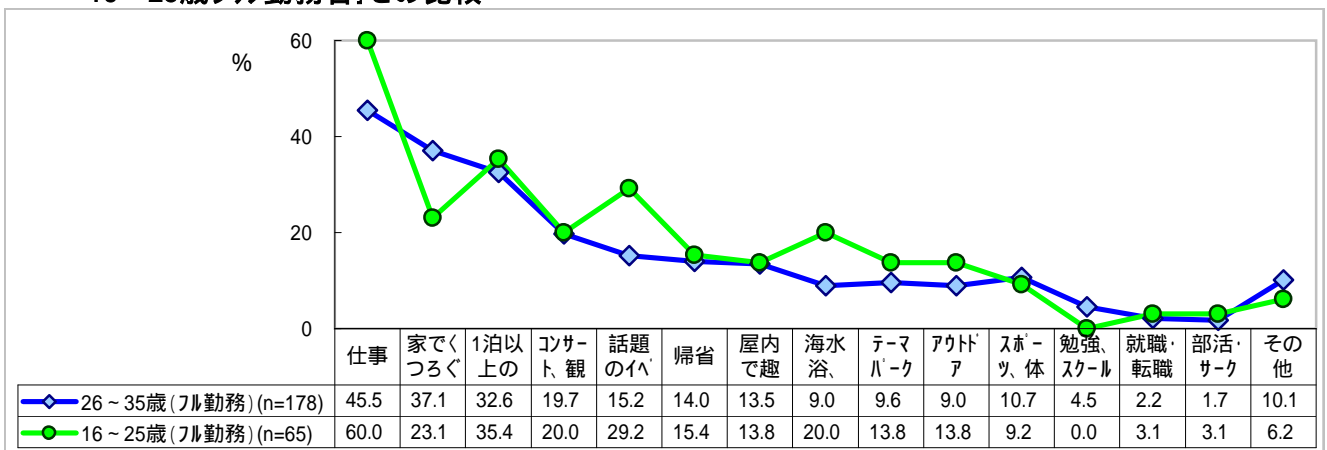
「その他」の予定の内訳には、結婚式の準備、出産予定、ショッピングなどが多くみられた。

16～25歳フルタイム有業者と比較すると、26～35歳は「家でくつろぐ」が高く、「仕事」「話題のイベント、新スポットへ」「海水浴、プール」が低い。16～25歳の頃よりも「仕事」も落ち着き、「話題のイベント、新スポットへ」「海水浴、プール」などの賑やかな場所へ出掛けよりも、「くつろげる場所」にいたいという気持ちがうかがえる。

## 今年の夏休みの予定（3つまでの複数回答）



## 「16～25歳フル勤務者」との比較



## 誘因

## 「以前からやりたかった・行きたかった」が63.3%、既に気持ちは醸成済み。

長期休暇の予定を決めるきっかけは、「以前からやりたかった・行きたかった」が63.3%と最も多い。一定期間以上前から計画していたり、日頃から情報収集をしたり気にかけていたり、既に気持ちが醸成されていることがわかる。また、「気に入っている」も8.0%の回答を得ており、直近になって全く別の選択肢が加わることは少ないと考えられる。

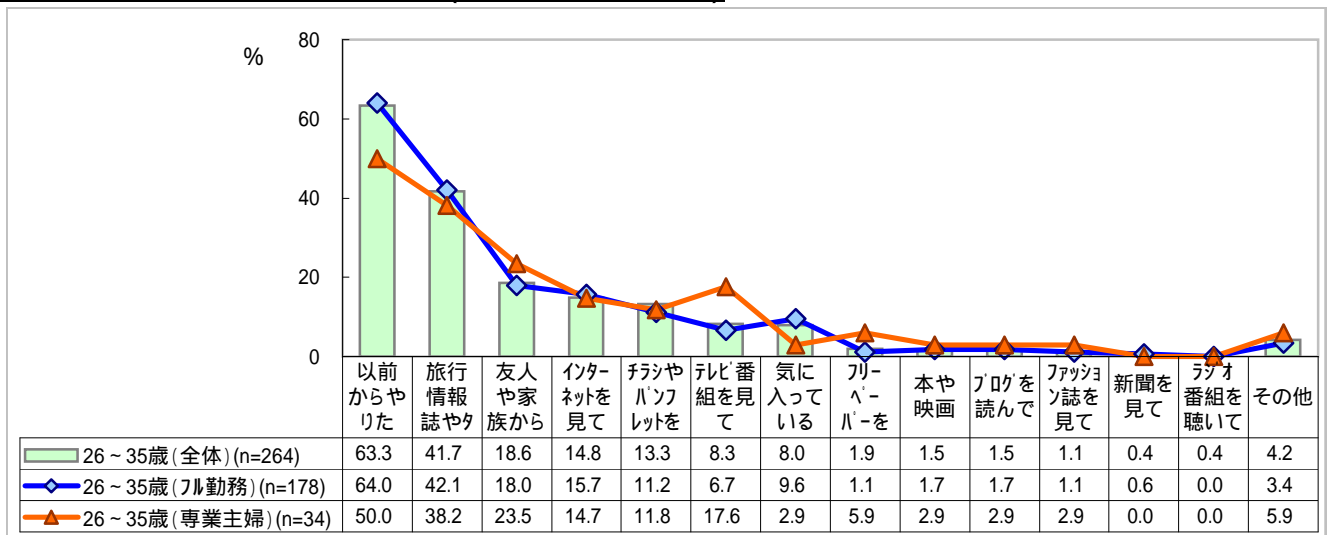
次いで多かった回答は「旅行情報誌やタウン誌を見て」41.7%で、「チラシやパンフレットを見て」13.3%と合わせると55.0%に上る。“どこかへ出掛ける”ことを前提として自発的に手に取ることが多い情報誌や紙媒体の強さがみえてくる。

対して、余暇情報の占有率が低い「テレビ」「ファッション誌」「フリーペーパー」はポイントが低い。

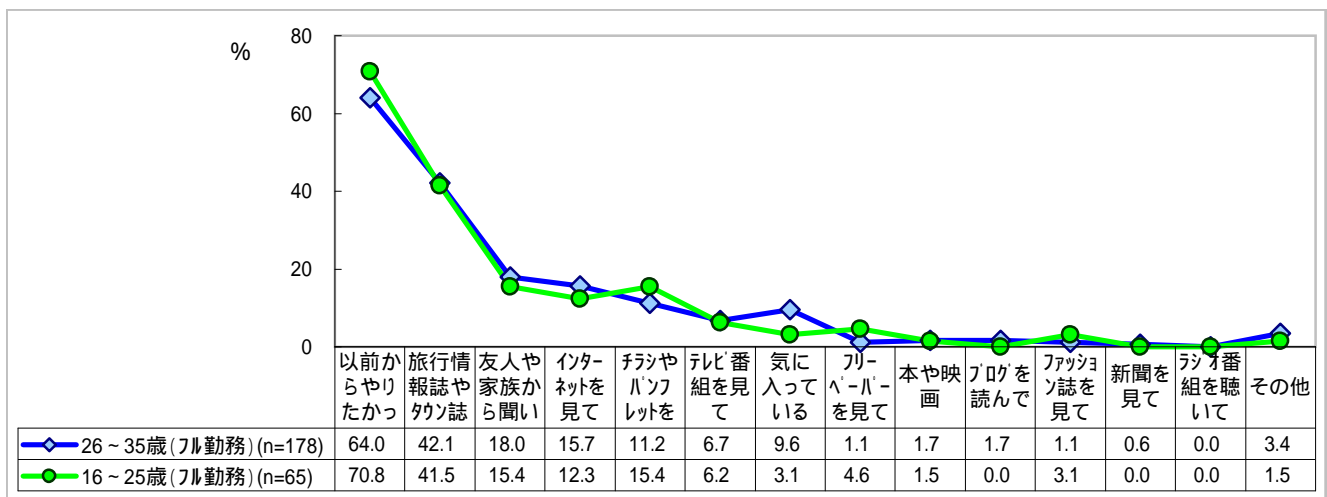
「インターネット」については14.8%にとどまった。「2008年媒体接触調査(自社調査)」結果では、「インターネット」を利用している岡山の20代女性は84.0%、30代女性は80.0%であることがわかっているが、“選択は2つまで”となると、雑誌のほうが誘因力が強い。また、「ブログを読んで」は1.5%で、ネット口コミがきっかけとなる人はほとんどいない。

16～25歳フルタイム有業者と比較をしたが、目立った違いはない。「誘因」に関しては、有業・無業や世代との相関関係はみられず、“女性”というカテゴリーでくくれるかもしれない。

## 長期休暇の予定を決めるきっかけ (2つまでの複数回答)



## 「16～25歳フル勤務者」との比較



## 「遊び」の情報源

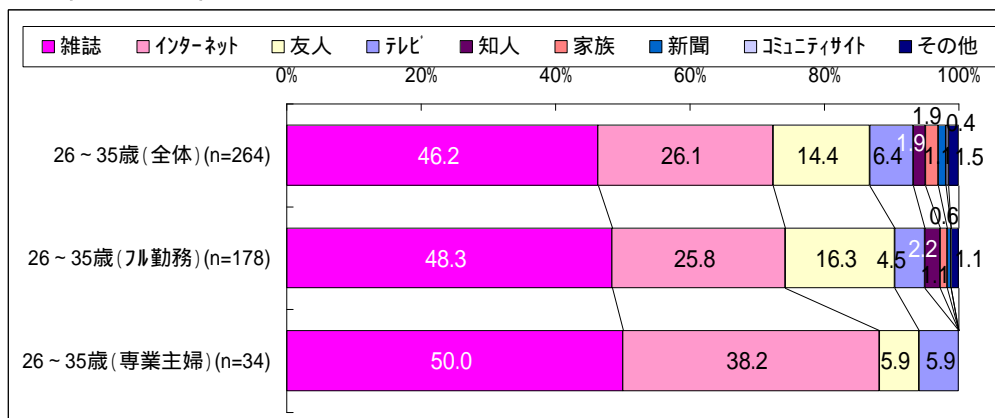
### 遊びの情報はやっぱり「雑誌」から！ 「コミュニティサイト」は使えない？

26～35歳世代の遊びの情報源として、「雑誌」が46.2%を占めた。次に「インターネット」26.1%、「友人」14.4%となっている。転じれば、この世代が求める遊びの情報は「雑誌」の中にあるともいえる。

属性別でみると、専業主婦はフルタイム有業者よりも「インターネット」の割合が12.4ポイント多く、「友人」の割合は10.4ポイント少ない。"専業主婦は友人接触率が低く、PC接触率が高い"という今調査のこれまでの結果が表れている。

「インターネット」の中には個人のサイトやブログなどが含まれていると推測できるが、「コミュニティサイト」を最大情報源としている人はおらず、ネット上での遊びの情報共有・交換はほとんどされていないようである。情報の信頼性を重視し、プロの情報をもとに質の高い遊びをしたい、といったところだろうか。

### 「遊び」の情報源（単一回答）

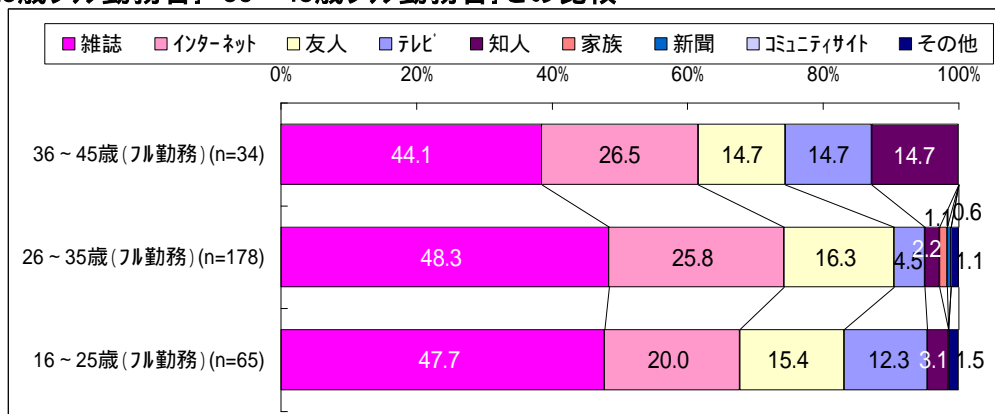


世代別に比較してみると、「テレビ」と「知人」の差が目につく。「テレビ」は26～35歳が少なく、「知人」は36～45歳が多い。

36～45歳は「友人」「知人」を合わせると29.4%を占め、身近な生の声を利用している人が他世代よりも多い。しかし、ネットの生の声である「コミュニティサイト」を選択した人はいなかった。

26～35歳は回答の割合が若干偏り気味であるが、他世代より情報源の多様性がみられる。

### 「16～25歳フル勤務者」「36～45歳フル勤務者」との比較



# アルバイト

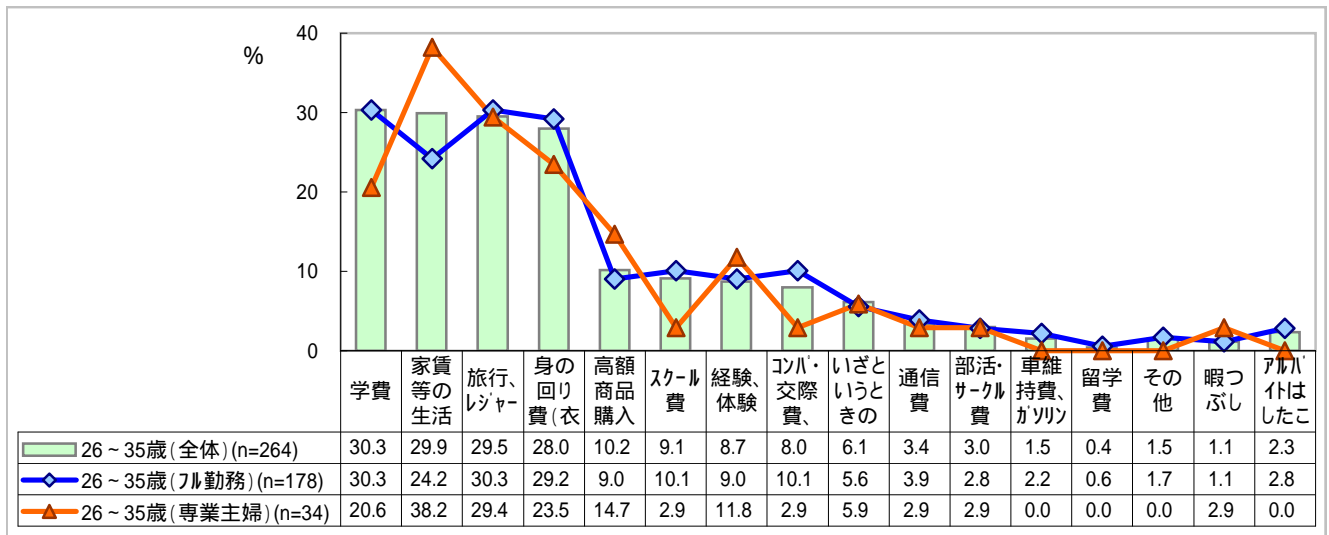
## 97.3%がアルバイト経験者。目的は、生活や教育レベルの維持。

過去を含め、アルバイトをした目的をたずねた。「アルバイトをしたことがない」人は2.3%のみ。

「学費」「家賃などの生活費」「旅行、レジャー」「身の回り費(衣料品)」の4項目に多くの回答が集まっている。「学費」は、過去でいえば自分の学生時代の授業料であろうし、現在でいえば子供の教育費と考えられる。収入を得ようとする目的は、生活や教育レベルの維持のためであり、家庭の経済状況の悪さの影響も感じられる結果である。

16～25歳フルタイム有業者をみみると、その傾向は更に如実で、「家賃などの生活費」が51.6%と突出し、次いで「車維持費、ガソリン代」26.6%が続いている。「経験・体験」といった漠然とした目的の人はいない。

### アルバイトをする(した)目的 (2つまでの複数回答)



### 「16～25歳フル勤務者」との比較

